

会派行政視察報告書

報告者 真志会 杉本康宏

1. 派遣者

(真志会) 小路貴紀 真野頼隆 桑原一知 木戸理江 杉本康宏

2. 視察の概要

令和5年8月22日(火)

北海道 神恵内村「ICTによるウニ・ナマコの陸上養殖事業」ICT(情報通信技術)

3. 視察内容



積丹半島の西側中央部に位置する神恵内村は、古宇群に
ある人口は約780人の北海道で2番目に小さな漁村。

かつてはニシン漁で栄え、大正元年には北海道一の水揚げを記録するなど歴史ある村ですが、ニシン・サケ・マ

スなどの減少による汽船漁業の衰退に加え、近年はウニ・ナマコ・アワビなどの浅海漁業も乱獲や密漁、磯焼けの進行や貧栄養化等によって資源が減少し漁業者は厳しい経営を余儀なくされています。

また、高齢化に伴う担い手不足や生産性の向上、通年出荷が課題となる一方で、ニセコエリアにおけるインバウンド需要や中国をはじめとするアジア消費市場の拡大を受け、増養殖技術の確立やブランド化が求められていて、こうした課題を解決するため、ウニ・ナマコ等の陸上養殖を実現し、新産業で村の持続可能性向上に自らチャレンジする必要があった。

今回の視察「ICTによるウニ・ナマコの陸上養殖事業」は「ICT地域活性化大賞20

20」奨励賞を受賞している。

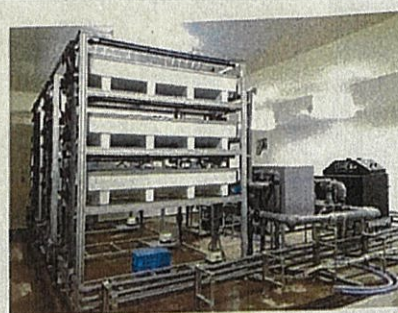
まず神恵内村が取り組んだのが「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換で、2016年からウニの短期養殖に取り組み、試行錯誤の末に味の良いウニができたが、海面での養殖のため管理や収量など多くの課題があり、この養殖と並行して水槽を使った陸上養殖ができないかと考えた時に、富士通株式会社のFishtect（水産業fisheriesとテクノロジーtechnologyを組み合わせた造語）を紹介されて、今はまだ実証実験の段階ではあるが、高品質なウニが安定的に生産できるだけでなく、労働の省エネ化や遠隔地でもデータが得られることなど、村の課題解決にもなっている。

軌道に乗れば、インバウンド需要も期待できるナマコの陸上養殖にも取り組みたいと思っている。 □

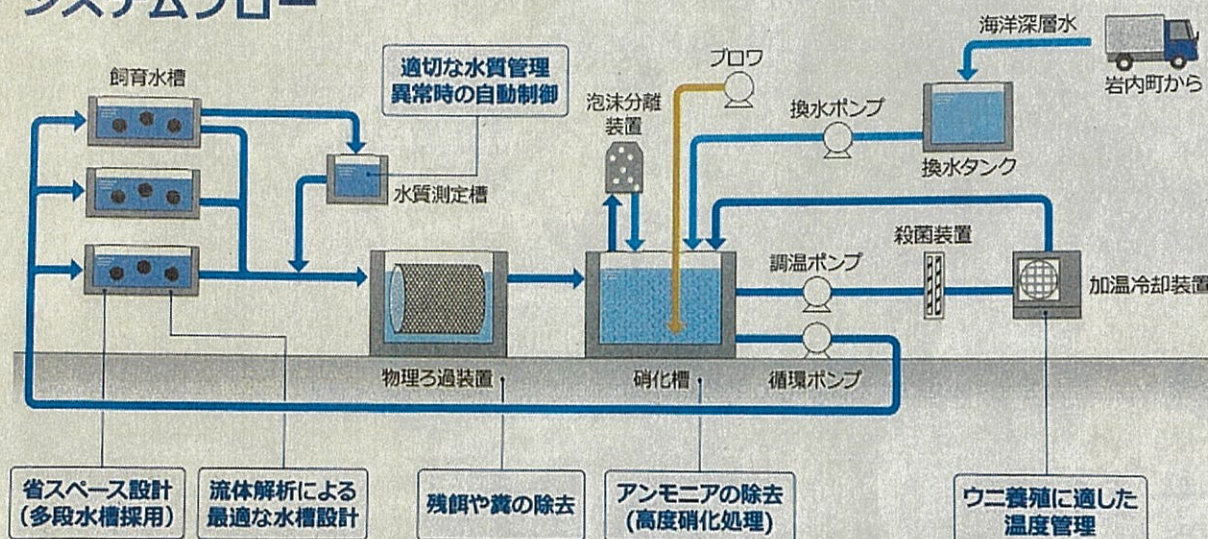
施設概要

エソバフンウニ循環式陸上養殖実証施設
(R2年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業)

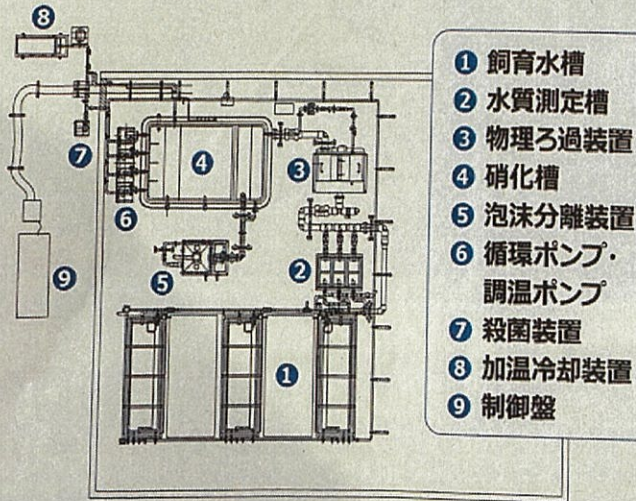
- 水槽サイズ 2.0m × 0.6m
- 水槽数 9槽(3段×3ユニット)
- 最大飼育個数 約6,000個
- 施設稼働 2021年1月～



システムフロー



設備配置図



- ① 飼育水槽
- ② 水質測定槽
- ③ 物理ろ過装置
- ④ 硝化槽
- ⑤ 泡沫分離装置
- ⑥ 循環ポンプ・調温ポンプ
- ⑦ 殺菌装置
- ⑧ 加温冷却装置
- ⑨ 制御盤



ウニ養殖の様子

Hitz日立造船は、陸上養殖事業の導入を検討されている皆様に 最適な水処理パッケージをご提案します。

【所感】

現在の日本の水産業は様々な問題を抱えていて、水俣の水産業も危機的状況にあるため、神恵内村のような今までとは違う新しい水産業も視野に考えていかなければならないと思う。

行政視察報告書

真志会 木戸理江

1. 派遣者 真志会：小路貴紀、真野頼隆、桑原一知、木戸理江、杉本康宏
公明党：牧下恭之

2. 視察日時、視察先、視察内容

2023年 8月21日

北海道 稚内市 「再生可能エネルギーを活用した地球温暖化対策の取組について」

3. 視察概要

人口約3万1千人、年平均気温7.6度の北海道最北のまちの本日の最高気温は27℃、ご当地の気候から夏のエアコン設置が一般的でない庁舎内で、議会事務局長から説明を受けた。

この地は年間270日の間、風速10mを超える日が続く。

サハリンまでわずか43kmの地であるが、現在ロシアとの国交は中断中

環境都市として、2003年の環境基本条例制定から現在まで、国の削減目標に合わせ温暖化施策を改定中。

直近では、第2次稚内市地球温暖化対策実行計画を2021年度から2030年度までの10年間で計画し、温室効果ガス排出量を26%以上削減することを目標とした。

その後、国が削減目標を上方修正したため、本市でも46%以上の削減に目標変更。

2006年にNEDO（独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の実証試験として開始、5年後にNEDOから無償譲渡、日照時間の少ない地域で太陽光が成功すれば成功モデルとしてアピールできると期待。

冷涼な地域でも発電効率が高く、春先は雪の反射で効率アップしている。

発電された電気は隣接の道立ふれあい公園に100%太陽光として電力供給。

5年間の実証試験で、経済性・発電効率に最も優れているのは多結晶シリコンであることが確認。

胆振東部地震の際のブラックアウトにもなんとか対応（供給）できた

収支は、売電額年間1億5千万円から維持管理費用等5千万円を引いた約1億円を基金としてストックし活用している。

今後3年以内に新設9か所、合計142基 総発電量は413,280kwの見込み。

平成27、28年頃 住宅地に急に小型風車の建設が増え、市民の問い合わせや苦情が増えたことから平成29年に全国初の条例制定（ガイドラインでは完全に守ってもらうことができなかったため）

実際に条例違反があったケースでは、住宅から距離をとるため移設させた例もある。

風力発電のポテンシャルは高いが、送電整備が脆弱だったため整備事業に着手し、合わせて世界最大規模の蓄電池が整備された、本年6月に竣工、さらに風車の建設が進む。

一事業による工事関係者は約800人、彼らが市内に滞留する事でコロナ禍を乗り切ることができた。

再エネ電力の自己託送で約1130万円の電気料金の抑制につながっている。

さらに、9月の補正予算で地域エネルギー会社の設立費用上程する。

また、マイクログリッド構築に向け協議中であり、ゼロカーボンエリアの創出が可能となる。

現在稼働中・工事中・アセス中全てを含む道北エリアの風力発電所が全部稼働できれば1.6ギガワットの発電が可能となり、国の総電力の約7%を占めることができる。

今後は地域新電力立ち上げ、メガソーラーの電気を売り地域新電力が一般に売れることになる。

余った電気は北電にしっかり話をし札幌市に供給、この流れをきちんと確立していくべく努力している。発電事業大手4社には、地元会社を置き行事に参加、倉庫を防災拠点に、発電事業売上の一部を市に寄贈してもらうなど、地域貢献をさせていただいている。

本市でも地元の子ども達に理解を深めてもらうため、副読本を製作し本市自らが説明を行っている。

地域の中には様々な意見も当然あるが、当方としては温暖化を歯止めをかける何かの方法が必要なのだ、と説明を続けている。

「それに歯止めがかからないとあなたが大事にしている鳥も守れないですよ」と。

【所感】

稚内市に向かう道中、風車の立ち並ぶ広大な丘を通った。

整備の行き届いた道路は、本州から来た旅行者がサイクリングを楽しみ、ドライブの家族連れが風車と緑の大地のコントラストをバックに写真におさめていた、フットパスのコースともなっていた。

風車の根元には酪農の牛が沢山休んでおり、関係者によると、風車本体の冷たさに身を寄せ体温調節をしたり、日陰を求めて来るのだそう。

建設反対の一つ「酪農に悪影響」という不安は、これを見る限りでは心配ないのではないと思う。

一部、地元特産のホタテの貝殻を粉砕し敷き詰めた「白い道」もあり、映画やドラマのロケ地ともなる場所はもちろん「インスタ映え」で人気スポットでもあった。

この日もバイクのツーリングや高齢者のデイサービス、家族連れなどひっきりなしに訪れ多くの人が写真を撮っていた。

稚内市ではこの道と風車のある風景を観光スポットとして全面に押し出し、それに付随したフットパスや映え写真スポット巡りや歴史探訪などのアイテムを揃えてアピールしている。

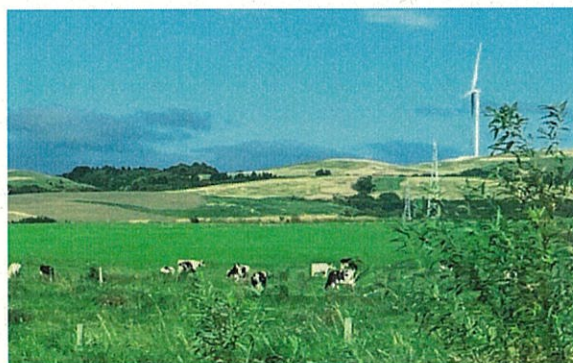
風車を有害なものとしてのみ切り取り、建設に全て反対するような思想に反し、それを観光や学習の場としてどう有効活用するかを構築することは、再エネ施策にとどまらず地域振興の一環としても有効であると強く感じた。

酪農と発電事業が同地で



風車の足元黒いかたまりが牛たち

白い道



会派行政視察報告書

報告者 真志会 桑原一知

1. 派遣者

(真志会) 小路貴紀 桑原一知 真野頼隆 木戸理江 杉本康宏
(公明党) 牧下恭之

2. 視察の概要

8月21日 道の駅 さるふつ公園
8月22日 道の駅 オスコイ! かもえない
8月23日 道の駅 いわない (時間がなく見学を断念)
道の駅 水の郷きょうごく

3. 視察内容

① 道の駅 さるふつ公園

広大な敷地には道の駅や宿泊施設、公衆浴場、キャンプ場、パークゴルフ場、飲食店、土産店など多数の施設があり、宿泊施設内には、村で採れた牛乳や天然ホタテ製品の販売、レストランではホタテや魚介類を使ったメニューを提供している。

更に農業は酪農が中心なので、道の駅さるふつ公園での食事や土産も地元のホタテや牛乳及びその加工品が中心である。

また、村のシンボル「風雪の塔」や「インディギルカ慰霊碑」、「さるふつ村地下歩道」など観光スポットもあり、日帰りでも宿泊でも楽しめる。



② 道の駅 オスコイ!かもえない

大正時代にはニシン水揚げ全道一だったという西積丹(にししゃこたん)の神恵内村(かもえないむら)。海岸沿いを走る国道229号(にしん街道)沿い、大森トンネル南出口にあるのが道の駅「オスコイ!かもえない」。ニシン漁に使っていた船を漕ぐ櫂(かい)の動きを合わせるためのかけ声「オースコイ」が名の由来である。観光客の姿だけでなく、車の通りの少ない西積丹。土産を買うにも、食事をするにも苦労するルートであるが、貴重な立ち寄りスポットが道の駅オスコイ!かもえないである。

観光案内と物販コーナーがあるのですが、物販コーナーでは水槽で活ホタテを販売している。

かつてはニシン漁で栄えた神恵内村ですが、安定した漁業収入を目指して、神恵内村活魚蓄養センターを設立、ホタテなどを養殖も行っている。

ホタテの旬は6月～9月、春は干フリ、塩ワカメ、夏は塩水ウニ、甘漬けウニ、秋には昆布など季節ごとの素朴な地場産の商品も並ぶ。



③ 道の駅 水の郷きょうごく

京極町と俱知安町を結ぶ道道京極俱知安線に位置し、ふきだし公園は環境庁の名水百選に選ばれた「羊蹄のふきだし湧水」があり、名水を求める多くの観光客が訪れる。

公園内には、名水プラザ、三角ステージ、トイレ棟、販売施設、遊具などの施設や芝生広場などを配置してある。

また、隣接して京極温泉、パークゴルフ場、キャンプ場が整備されている。

売店では、羊蹄山の湧水を使用したナチュラルミネラルウォーターや名水珈琲をはじめ、1 番人気の名水珈琲ゼリーに羊蹄山麓野菜、京極酒などの特産品の他、近郊の土産品も販売している。

お土産の中には全国的にも珍しい、蝦夷ひぐまや蝦夷しかの加工品を販売しており、クセや臭みの少ない良質なソーセージやベーコン、ジャーキーも販売している。



4. 所感

今回、3カ所の道の駅の見学を行った。1カ所は時間の都合上見学できなかったが、3カ所とも、地元の魅力をしっかりと発信していると感じた。海産物が強みでありメインであるが、その中でもジビエなど地域の特産物をだしてあるなど、強みをうまく発信している。

また、併設してキャンプ場などあり、本市道の駅「ミナマータ」でも取り組めると感じた。

水俣は海も山もあり、地元の特産品は多々あるが、まだまだ品数等が少ないと考えるので、課題として取り上げていきたいと感じた。

視察報告書

令和6年2月20日

報告者 真野頼隆

去る2月5日、私たち真志会の議員5名は福岡県みやま市にある荒木製蠟(株)で会派視察を行った。

挨拶が終わるや否や、荒木製蠟の代表取締役の荒木真治さんから開口一番、水俣でも3種類のハゼを植栽してほしいと言われた。なぜなら、木蠟には硬い種類と軟らかい種類があり、硬軟織り交ぜることにより、ちょうどいい木蠟ができるとのことであった。

1850年創業の同社は、九州各地からハゼの実を集荷し木蠟を生産している。同社に運び込まれたハゼの実は、まず、分離機にかけられ、実と房に分けられる。次に実を粉碎し溶剤を注入し蠟を抽出する。その後、溶剤を加熱し、溶剤と生蠟を分離、抽出した液体を容器に入れておくと、常温で凝固し「生蠟」ができあがる。この生蠟は一部出荷し、和ろうそくの原料となっている。さらに、この生蠟を砕いて2ヶ月間ビニールハウスで天日干しして、白蠟に精製する。白蠟の用途は石けん、口紅やクリームなどの化粧品、力士や歌舞伎役者が使う鬢づけ油、クレヨンなどの文房具、家具をはじめとする木製品や革製品のつやを出すワックス、コピー機のトナーなど幅広い分野で使われている。

私たちのほとんどがハゼのろう分は種に含まれると思っていたが、実は種ではなく果肉に含まれていると聞き、目からうろこが落ちた気分であった。ろうは常温では固体、高温では液体の油脂、天然資源である木蠟や米ぬかろうのような植物性油脂と、ミツロウのような動物性油脂を合わせると400種類に及ぶと言われる。しかし、天然油脂のほとんどは石油製品である石ろう(パラフィン)に代替され、地元でハゼを知る人が少なくなっている。

水俣も細川藩の時代に、侍台地を中心にハゼの木が植えられ、冬になると高い木に二段バシゴが掛けられ、収穫する光景がよく見られる。また、秋になると紅葉し、真っ赤な色が私たちの目を楽しませてくれる。侍地区では、水俣の特産である寒漬の材料の大根をハゼの木にかけた光景は何とも風流である。

SDGsを目指す水俣市としては、化石燃料に頼ることなく天然資源であるハゼの実を活用することが求められ、新たな品種の植栽が必要になってくると思われる。

会派行政視察報告書

報告者 真志会 桑原一知

1. 派遣者

(真志会) 小路貴紀 桑原一知 真野頼隆 木戸理江 杉本康宏

2. 視察の概要

- 2月5日 荒木製蠟(資)「蠟を取り巻く市場状況について」
2月6日 JR 武雄温泉駅「西九州新幹線開業に伴う駅周辺の景観及び施設整備の状況について」
武雄市図書館「民間資本参入による公的図書館の実態について」
祐徳稲荷神社「訪日外国人(主にタイ)受入の取組について」
2月7日 唐津市「唐津市 DX イノベーションセンターについて」
一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
「地域資源を活かしたコスメティック産業の創出について」

3. 視察内容

1. 唐津市 DX イノベーションセンターについて

唐津市は、佐賀県の西北部に位置し、農林水産業をはじめとする産業や伝統的な地域文化が育ち優れた観光地として発展してきた。「虹の松原」は日本三大松原の一つで、国の特別名勝に指定されている。

人口は116,323人(R5年4月現在)である。

コロナ禍からの経済回復の加速、市民の利便性向上と行政運営の効率化のための DX の本格化、並びに国体「SAGA2024」へ向けた受入環境の整備を最重要課題とし取り組んでいる。

その取り組みの一つが、市内事業者が取り組むデジタル技術を活用した経営課題の解決を支援し、生産性の改善や付加価値向上、新ビジネスの創出を図るため、2022年7月に「唐津市DXイノベーションセンター」を開設。センターの運營業務委託のためプロポーザルを実施し、2社が参加し委託先として(株)フォーバルを採用した。

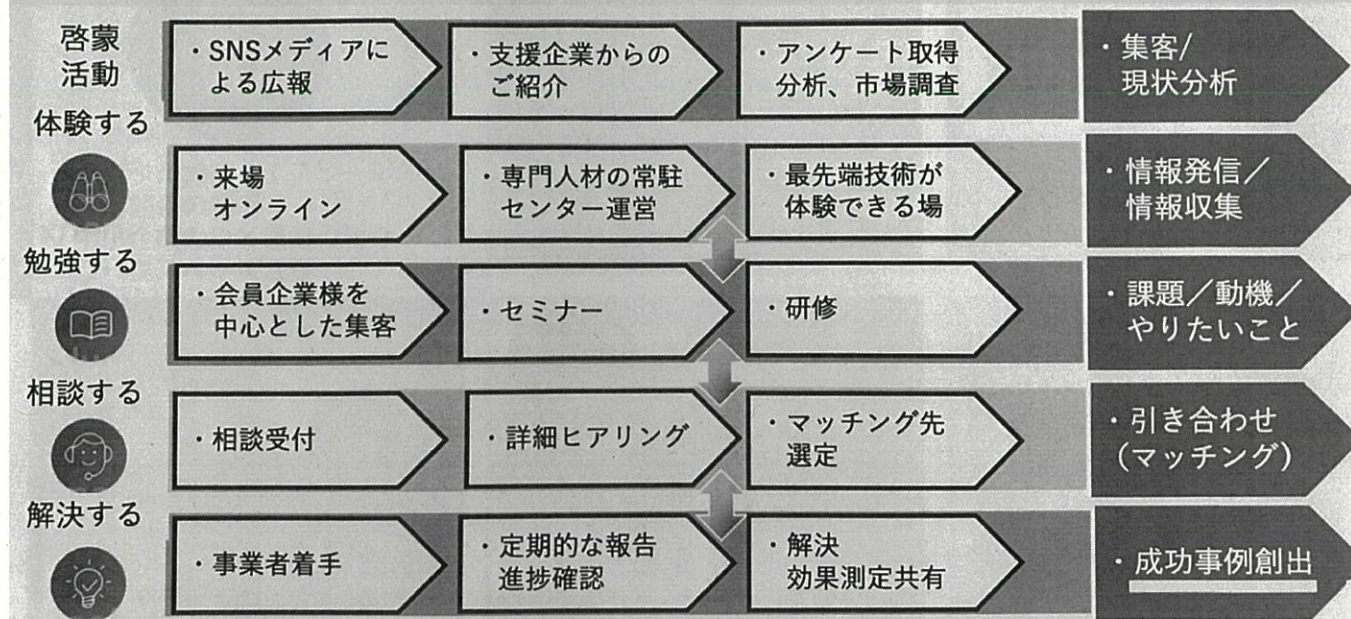
気軽にDXに関する最先端の知識を学び、経営課題を解決する糸口を見つけることができる。

● 中小企業経営の DX の意義

中小企業経営の DX は、単にデジタル化する事ではない、まず効率化して、生産性向上させ、生み出した時間とお金で投資し、ビジネスモデルを変革し新たな価値創造により利益につなげる。

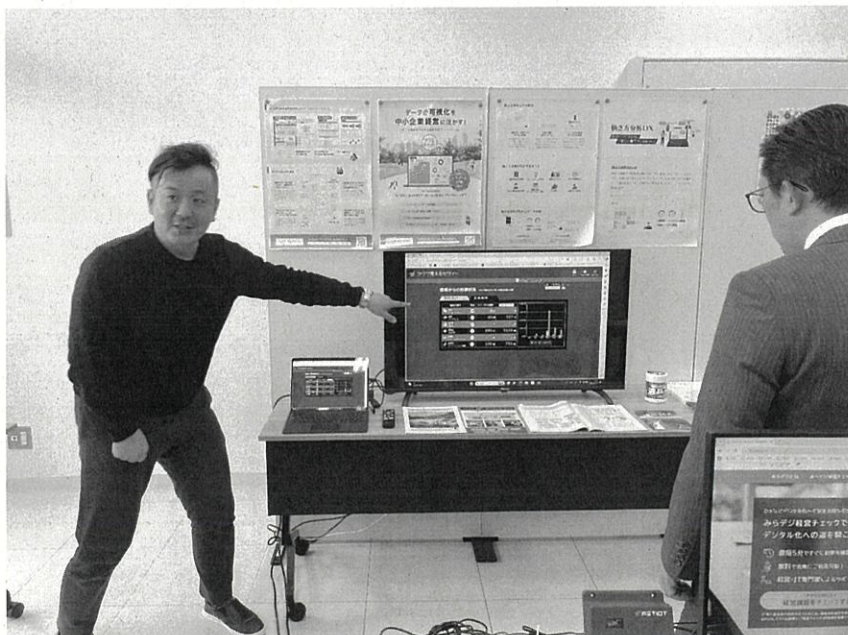


唐津市DXイノベーションセンターの事業フロー

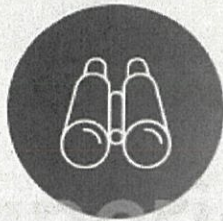


センターの基本的機能

- ☛ セミナー・イベント・人材育成研修
- ☛ 専門家の派遣による助言・提案
- ☛ DX や AI・IoT 等の先端技術を体験できる場の設置
- ☛ 相談内容に応じた IT 企業等とのマッチング
- ☛ メディアを用いた DX 普及・啓発活動



体験する



- ・デジタル機器・ITツールの
先端製品の展示
- ・中小企業のDX事例の紹介
- ・ワークスペース活用

センター オフィス&ワークスペース&機器



勉強する



- ・セミナー・イベントの開催
- ・学習コンテンツの提供

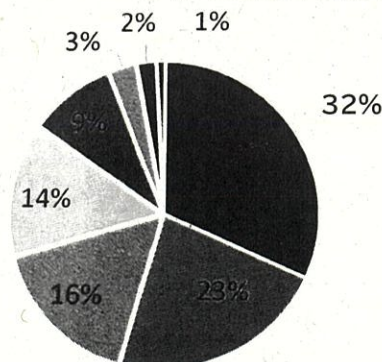
- 令和5年度
- ◆観光DXセミナー (6/23)
参加：49名
 - ◆成功するHP設計セミナー
(7/11) 参加：15名
 - ◆DXで地域から世界へ！
人財セミナー (9/26)
参加：36名
 - ◆採用DXセミナー (10/25)
参加：14名



相談実績 (2022年7月11日～2024年12月31日)

- | | |
|-------------|-----|
| 1. 農業 | 2件 |
| 2. 建設業 | 3件 |
| 3. 製造業 | 16件 |
| 4. 宿泊業 | 14件 |
| 5. 卸小売業 | 31件 |
| 6. 飲食業 | 9件 |
| 7. 運輸業 | 1件 |
| 8. その他サービス業 | 22件 |

業種別相談割合



- 卸小売業
- その他サービス業
- 製造業
- 宿泊業
- 飲食業
- 建設業
- 農業

解決する

- ・マッチング企業(約100社)との事業着手
- ・進捗確認、課題対応など

2023年12月末現在

- ・検討企業 19件
- ・着手企業 33件
- ・成功 候補企業 6件

業種	相談種別	相談発生年度	着手月	成功事例
卸小売業	D X	2022年9月	2022年9月	成功
飲食業	I T	2022年9月	2022年9月	候補
卸小売業	I T	2022年8月	2022年10月	候補
宿泊業	D X	2022年9月	2023年6月	候補
その他サービス	I T	2022年10月	2023年7月	候補
宿泊業	I T	2022年9月	2023年9月	候補

ケース1 卸小売業 A 社

生産性向上 DX を活用した組織づくりを目指し、アナログ経営から DX を促進し組織力の向上・DX 促進・第3者認証取得しさらなる売上拡大に成功。

ケース2 飲食業 B 社

商工会からの紹介で、セミナーから参加し WEB サイトのリニューアル構築・EC サイトの構築・SNS の情報発信 LINE による顧客管理・デジタルクーポンの発行また、DX 人材を採用し店舗運営業務の改革を進めている。

4. 所感

水俣市でも DX を推進しさまざまな取組を行っているが、今後統一した住基システムが本格的に動きだせばさらなる促進を迫られると考える。

このデジタル化は行政よりも企業が前に進んでおり、行政も乗り遅れることなく急ぐ必要があると感じた。

また、今回の視察は、地場の事業所のDX化を図るために行政が後押しする取組みである。

本市でも企業支援センターやアカデミア等を中心に進めてみるべきと感じる。その中でも商工会議所との連携は重要であると感じた。

地元事業所が、デジタル化で売上向上を目指すことで、本市の税収にも寄与する観点からも、行政の支援も必要であると改めて実感した。

真志会 会派視察

2024年2月7日 唐津市：一般社団法人 ジャパン・コスメティックセンター

参加者：小路議員、真野議員、桑原議員、杉本議員、木戸

唐津コスメティック構想の中で化粧品の輸入・分析を行っており、コスメティックバレーとして工場敷地内に地元の運送会社も有しゲラン（フランス）との取引を行っていた。事業の拡大でアジア圏内に展開するにはリスクが大きくなったことから、国内に目を向け信頼できるものづくりへの原点回帰を行った。

化粧品の原料生産場所として耕作放棄地に目をつけ、全国にその地を置き現在に至る。

13の大学から支援もあり、佐賀大学の共同研究講座を開くなど、次世代への継承も考慮してある。現在では、農家の生産に対するプライドをうまく活用し、こちらで思っているものが大抵できるようになっており、商品開発部門でも企業に紹介を繋げることができるようになっている。

難しいのは、原料の厳選。安全性・安定性が求められるため、継続して供給できるフィールドを確保しておかなければならない。合わせて耕作放棄地での原料生産も、当社が手を入れ運営している間に土地の所有者が「使い勝手が良くなった土地」に戻ってきてしまうケースもあるとの事。

現在5社が参加している「唐津コスパーク」では、地元特産の椿から取る油をベースとした化粧品の開発・商品化・販売や、ハーブや柑橘類の花やバジル・菜の花など様々な原料を確保し運営している。

資本金別で会費運営で成り立っており、現在個人・集合体など167団体が参加している。

最近のコスメの傾向としては、男性市場の増加とともにユニセックス化が進んでいる。実際に身近にいる若い男の子たちも普段からスキンケアを丁寧に行っているし、外出時や動画撮影時などはメイクを施している数も多い。Z世代と言われる若者達のT i k T o kやインスタグラムでの配信やテレビなどのタレントの影響も多いと分析される。

昔は化粧品と言えば「高くないと効かない」というイメージがあり、ブランド力も強く影響していたが、今ではプチプラやネット通販などで安価でバラエティに富んだものが好まれる傾向にある。実際にその時の流行の色やコンディションが季節ごとに変わるため、使う側としても安くて気軽に試せるコスメの方が使い勝手が良く、次のシーズンや流行が変わると新しいものにシフトできるのは消費者として有難いことである。

そのような時代のニーズを機敏に取り入れ、原料栽培から加工・販売・マーケティング・集客まで一つの組織が、玄海町・唐津市・佐賀県と一緒にいることは強みだと思う。

所感 耕作放棄地の活用という部分で本市でも大いに参考になる部分だと思った。

身近なところでは、棚田の利活用に悩む地域において、当社の知恵をいただけるような事になるべくアプローチをしていきたいと考えた。

これからの耕作放棄地問題に大きく寄与できる取組みであるし、その地域によって適した作物を生育し活用できるという希望に満ちたものであるため、具体的な策を進めていきたいと思う。



1. 派遣者

(真志会) 小路貴紀 真野頼隆 桑原一知 木戸理江 杉本康宏

2. 視察の概要

令和6年2月6日(火曜日)

佐賀県 武雄市「武雄温泉駅」「武雄市図書館」

3. 視察内容



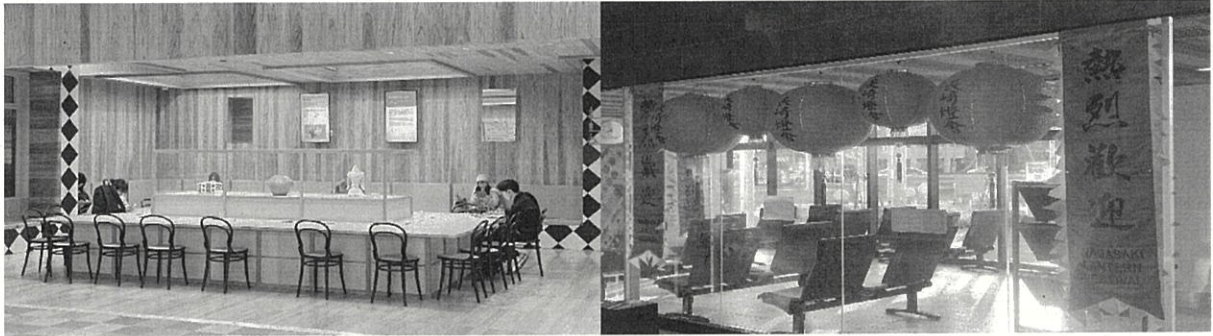
武雄市は佐賀県の西部に位置する市で市内中心部にある武雄温泉で知られ、人口は47,415人で元々あったJR九州の佐世保線の武雄温泉駅に2022年(令和4年)9月23日に西九州新幹線の武雄温泉駅—長崎駅間が部分開業となり、新幹線と在来線の計2路線が乗り入れている。

駅が町の中心部に位置しているため、市民の往来が多く高架下や駅周辺のライトアップを行ったりしている。

西九州新幹線は全線開通がまだなので、利用者は一部の人に限られるが、駅の周辺を利用したイベント等を開催している。



新幹線と従来線の2路線を利用する人達が多数いるので、フリースペースやカフェなどが併設されていて気軽に利用できるようになっている。



水俣駅は市内から少し離れた場所にあるため、駅利用者しか利用する人だけに限られるためライトアップ等の催しは難しいところではあるが、駅周辺の整備も含めて取り組んで行きたいところ。

武雄市図書館・歴史資料館



武雄市図書館・歴史資料館は指定管理者制度を導入してカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC TUTAYAの経営母体）が指定管理者として運営している。



指定管理者制度を導入したことによって、図書館内にSTARBUCKS COFFEE 九州パンケーキ・HONEY COFFEE) 音楽・映像ソフトレンタル及び書籍・雑誌販売を営む蔦屋書店が図書館の中に併設され、図書館の概念がひっくり返るような衝撃の図書館。



午前9時の開館を前に多くの人が並んでる様子がすごく印象的。図書館としての利用だけではなくてWi-Fiも完備されていて、iPadやDVDプレイヤーの無料貸し出しも行われているので、仕事や勉強のために利用する人も多い。

外観はモダンな作りで夜にはイルミネーションで装飾されていて、観光スポットとしても有名。

内観は開放的で明るい雰囲気の種類・分類ごとに綺麗に陳列されていて感動的。

水俣にもこのような施設があると、市民の人はもちろん市外の方々も利用されると思うので、水俣の魅力の1つとしてアピールできると思うので、考えていきたいところ。